

- 1 派遣期日 平成29年11月10日（金）
- 2 研修先 学校名（会場名） 越谷市立千間台小学校・中学校
所在地 埼玉県越谷市三野宮1141番地
<http://school.city.koshigaya.saitama.jp>

3 研修内容

(1) 視察校における研究への取り組みについて

研究テーマ：「小中一貫教育を通して、豊かな情操と主体的に学ぶ力を育み、
自己肯定感の高揚を目指す教育の実践」
～夢に向かって輝く千間台の子どもたちを目指して～

① 身に付けたい力の作成

千間台小学校・中学校（小中一貫教育）では、児童生徒を9年間でどのように育てていくかを明確にするため、「進路指導・キャリア教育で身につける力」を作成している。キャリア教育の各能力について発達段階ごとにまとめることにより、基礎的・汎用的能力の関連性・系統性がわかりやすくなっている。

【千間台ブロック】進路指導・キャリア教育で身につける力

	人間関係形成 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
小学校 低学年	① 元気でよく遊ぶことができ、最後まで集中して取り組める児童 ② 学校のみんなと仲良く学校生活を送ることができる児童	① いろいろなことにチャレンジし、がんばる児童 ② 学校生活での約束を守れる児童	① 安全に生活できる児童 ② よく見て、よく聞くことができる児童	① 上級生の姿と向き合い、お手本としながら楽しい学校生活を送ることができる児童 ② 「あそびランド」や「もうすぐ1年生の会」を通して、自分の役割をしっかり引き継ぎ、進路する児童
小学校 中学年	① 友達とよくいっしょに遊ぶ、励まし合う児童 ② 友達と協力して、学校や地域に誇りを持てる児童	① 自分自身を褒め、そのよさを伸ばそうとする児童 ② いろいろなことに挑戦し、がんばる児童 ③ いろいろなことに挑戦し、がんばる児童	① 自分自身で課題を解決しようとする児童 ② よく聞く児童で授業を受ける児童	① 様々な活動を通して、自分の力を発揮できる児童 ② 様々な活動を通して、自分の力を発揮できる児童
小学校 高学年	① 多様な価値観の考えを理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる児童 ② 学校のみんなと仲良く、互いに協力し、主体的に取り組める児童	① 学校行事を通して、自分の得意なことや好きなことに気づき、伸ばそうとする児童 ② 相手の意見や考えを聞き、実践できる児童	① 学校行事や学習への取り組みを通して、見通しを立てて行なえる児童 ② 課題の発見や解決の過程、結果に気づき、振り返ることができる児童	① 友達や下級生との関わりを通して、人のためになる喜びを感じることができる児童 ② 中学校への進学、自分の夢、あこがれについて具体的なイメージを描ける児童
中学校	① 様々な活動や経験を通して、自分の得意なことや好きなことに気づき、伸ばそうとする児童 ② 学校のみんなと仲良く、互いに協力し、主体的に取り組める児童	① 学校生活を通して、主体的に行動し、自分に自信が持てる児童 ② 自分自身を褒め、そのよさを伸ばそうとする児童 ③ いろいろなことに挑戦し、がんばる児童	① 学校行事や学習への取り組みを通して、見通しを立てて行なえる児童 ② 課題の発見や解決の過程、結果に気づき、振り返ることができる児童 ③ 様々な活動を通して、自分の力を発揮できる児童	① 2025年の目標を立て、自分の夢、あこがれについて具体的なイメージを描ける児童 ② 上級生の姿と向き合い、お手本としながら楽しい学校生活を送ることができる児童
補足	① 友達との関わり合いや協力することについて目標設定 ② 集団生活の中での目標設定	① 自分自身を褒め、そのよさを伸ばそうとする児童 ② 自分自身を褒め、そのよさを伸ばそうとする児童 ③ いろいろなことに挑戦し、がんばる児童	① 学習や行事への取り組みについて目標設定 ② 聞くこと、理解することについて目標設定	① 仕事の大切さについて考えたり、気づいたりする児童 ② 進路・進学・就職など、自分自身から考える児童

② 学習系統表の作成

身に付けたい力を教育活動のどの場面（単元、領域、行事等）で育成できるかを、具体的に「進路・キャリア教育に関する能力をつけさせるための学習系統表」としてまとめている。これにより、9年間を見通した学習の内容が把握できるようになり、小中相互に指導内容が把握できるようになっている。

② キャリアノート作成・活用

進路指導・キャリア教育に関する能力の育成を計画的に行い、児童生徒自身が「現在」、「過去」、「未来」に目を向けることができるように、「ぼくのわたしの夢・未来ノート（キャリアノート）」が作成されている。ノートには児童が自分の「現在」の様子を見つめることと、これまでの自身を振り返る「過去」、そして「将来」の自分の姿について考えることをできるようにし、実態把握やそれによる課題の明確化、課題に対する取組の実践、変容の見届け、将来について考えさせるという計画的に活用できるようにしてある。「そのとき自分はどうかだったか」「次はこうしよう」など主体性をもって自己評価ができ、メタ認知を活かした自己理解・自己管理能力の育成も図られている。

(2) 視察校における授業の実践

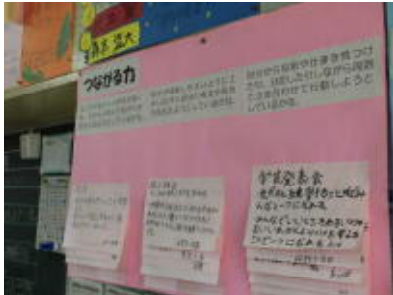
6年 学級活動 「待ってろよ！未来の自分」

授業では、

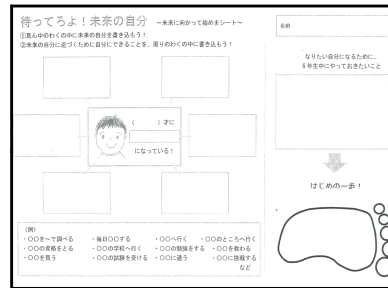
- ① 9月から12月までの4ヶ月間「待ってろよ！未来の自分」というテーマで特別活動を要としたキャリア学習を行い、児童の変容を見取ること。
- ② キャリア学習についてのオリエンテーションや、キャリアコーナー、キャリアノートを活用しながら児童の意識を高めていくこと。

- ③ 児童の発達段階に即したワークシートの工夫をすること。
 - ④ 児童にとって身近な生き方のモデルとして保護者に協力してもらうこと。
- を通して、学ぶ意義を感じながら、自己の未来に向かい、見通しをもって活動する児童の育成を目指していた。

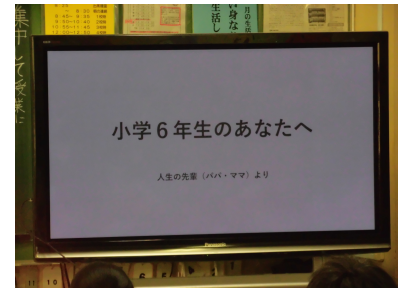
②に関しては、授業の導入での今までの活動や成果をキャリア学習の視点で振り返る活動からみることができた。児童はキャリア教育の掲示物やキャリアノートを活用しながら、今までの活動や学習を振り返り、基礎的・汎用的能力に照らし合わせながら、どんな力を高めてきたのか考えることで、キャリア学習の意識を高めていた。意識を高めることで、児童一人一人が自分たちの学ぶ意義を理解していた。



キャリアコーナー（一部）



ワークシート



人生の先輩からメッセージ

(3) 藤田晃之氏による講演会

視察先に関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会埼玉大会を選んだ動機の一つに、指導者として筑波大学人間系教授藤田晃之先生を招いていたことがある。キャリア教育のパイオニア的存在の同氏に指導を仰ぎ、講演を聴くことができたのは大変有意義だった。次期学習指導要領の改訂で、小中高とも「キャリア教育」の実践が義務付けられるという中で、キャリア教育の目指すものについて幅広い見地からのお話を伺うことができた。「学びの意義を伝えることが大切」、「各学校が『うちの子たちに身に付けさせたい力』を設定すること」、「学びが社会とつながって見えることが大事」などの言葉は、私のキャリア教育への意識改革に大きな示唆を与えてくれた。

4 感想

- 目指す児童生徒像や身に付けさせたい力を、教師が意識しながら授業をはじめとした全教育活動に当たることで教育活動の資質向上を図り、自分の現在と将来を見据えながら、よりよく生きる児童生徒の育成をしっかりと目指していけるのだと思った。千間台小学校・中学校は身に付けたい力を「進路指導・キャリア教育で身につける力」として、小学校低学年から中学生までの各発達段階ごとにまとめているので、基礎的・汎用的能力の関連性・系統性がわかりやすく、キャリア教育を進めていく上で大変有効だと思った。
- 学ぶ意義を実感することが大事だと感じた。実感することで学習意欲が向上したり、今の積み重ねが将来のアイデンティティにつながっていくことを理解したりできるのだと思う。学ぶ意義を理解させていくことは、キャリア教育の大きな役割の一つではないかと思う。
- 参観した授業が、自己の未来に向かい見通しをもって活動していくという、魅力的な授業だった。児童一人一人の主体的に学ぶ姿や教師の発問・言葉かけもすばらしかった。45分の授業の中にも色々な工夫がされており、参観した授業や事後の活動によって、今までよりも意義深く充実した学校生活を送れるにちがいないと思う。キャリア教育の実践の方法を学びたいと思っていた自分にとって大きな収穫となった授業だった。今回の研修で、キャリア教育の取り組みへの道筋を見いだすことができ、有意義な研修となった。

このような研修の機会をいただいたことに感謝すると共に、今後の教育活動に生かしていきたい。